



眉山クラブ  
まつい だいすけ  
松井 大助 議員

## 超高齢化社会への対応

**Q** 介護保険事業施設は充足しているのか。

**A** 高齢者人口は来年度がピーク。連動して要介護・要支援認定者数も減少すると推定し、原則、介護保険施設等の整備はしない方針。

**Q** 介護サービスの質の充実を。

**A** 島原広域圏が各種研修、事業者支援事業に取り組んでいる。昨年度、介護職員等基礎研修事業は7コース、17回実施し、471名の参加。

**Q** ひとり世帯、認知症高齢者の増加が予測される。対応策の柱は。

**A** 島原市あんしん支え合い活動等地域で支える体制の充実。成年後見制度の活用。認知症サポーター養成講座では毎年700名余りを養成。

**Q** 介護保険事業の問題点と次世代への展望は。

**A** 人材不足が課題、介護人材の育

成・確保対策が重要。県が介護ロボットやICT導入促進事業などを実施。

**Q** 公的年金は減額、介護保険もパンク、市民税や消費税の増額では対応できなくなるのでは。

**A** 2025年の高齢化率（推計値）、国は33・4%、市は36・4%。介護保険は介護給付の伸びが予想され、保険料も増額の見込み。県市長会では国等に対し、国の責任で財源構造を含め財政的な対策を講じることなどを積極的に要望。

**Q** 人生100年の時代。生涯現役とする働き方改革「老人参画いきがい対策」も重点施策に据えるべき。

**A** 高齢者の知識・経験を楽しみとして地域で発揮できるツールとして、シルバー人材センター、地域での見守り活動や公民館等での講座などがあり、参加して仲間の中で自らの楽しみを發揮してほしい。

**Q** 島原市地域包括支援センターの陣容は。資格にとらわれない、老人力による組織の強化を図れないか。

**A** 業務に支障がないように介護保険事業計画に基づき配置されるものと思う。



バラの会  
くすのき しんすけ  
楠 晋典 議員

## 投票率の向上のため

**Q** 低下し続ける選挙投票率において、学校現場での主権者教育が重要であるとともに、期日前投票所のイオンのような雰囲気は参考にすべき。他の投票所においてもしまばらんのテーマのような音楽をかけて入りやすい雰囲気をつくるべきだと思いがどうか。

**A** 他市の状況等を勘案しながら検討したい。

## 大事に使いたい公共施設

**Q** 森岳公民館がお堀の石垣に直接のつており地震を考えると危険である。文化会館を存続し、小・中ホールで公民館機能を持たせることができなから。今後のスケジュールは。

**A** 教育委員会内部でも検討している。これからも多くの市民の皆様や議会の声を聞きながら総合的に検討していきたい。

**Q** 小学校のプールを約半数廃止して学校をまたがって共同で使用するということが、温水プールならば夏だけでなく一年中授業が可能である。近い将来に建て替えも含めて残す必要があるのではないか。

**A** 学校のプールに比べて費用対効果の面では高いと思う。温水も宝酒造様から頂いており、可能性はあると思う。

## 安全安心のまちづくり

**Q** イオンの建て替えにおいて道路の付け替え工事が考えられるが、同時に商工会議所付近で大雨時には洪水がおこるので、少しでも音無川の流量を減らすために道路の付け替え時に水路も併設するようなことは考えられないか。

**A** 道路の付け替えという、めったにない機会でもあり、どのようなことが可能であるか、まずは調査を試みたいと思う。

## 【その他の質問項目】

- ◇市民の声を聞くということ
- ◇ロケッツリズム